

これからを生き抜くための 肥育経営のお話し

(有)シェパード
中央家畜診療所

SHEPHERD

第1回目の今回は導入時点での 衛生対策のお話です

SHEPHERD

導入時に考えておくこと

- 子牛は、よそんちから連れてきた子供だと思ってね
- 大きなストレスは3つ
 1. 最大のものは群編成ストレス
 2. 環境の変わるストレス
 3. 飼料の変わるストレス

SHEPHERD

群編成時には免疫低下

- 人間の子供だって保育園に入ると風邪とかひくでしょ？
- 導入牛だって知らない連中と同じマスに入れるとストレスなんです
- 導入後15分で免疫もビタミンAも下がり始めて2週間目が最低になります
- 闘争で順位が決まる導入後3週間までは免疫低下

SHEPHERD

群編成時には免疫低下

- だから導入直後が一番疲れてるはずなのに、風邪が広がるのは導入10日くらいからでしょ？
- でもこの時期は、腹作りをするのに重要な時期です
- だからしっかりと対策しましょう
- 一度回復した群に新しい子牛を入れると全体の免疫がまた半分程度に下がるので注意！

SHEPHERD

群編成ストレスのおさらい

- 肥育導入時の群編成は1回で済ませて群の再編成をしない
- 1群の頭数を多くすぎない
→群の順位形成に時間がかかり、免疫の回復が遅れる
- 群編成後2週間は、免疫が通常の半分以下とすることを念頭に観察注意
- モラフィットのGABAはストレス軽減に大きな効果(移動前から給与ね)
- 移動前日にミコチル注射

SHEPHERD

免疫のセンターは腸管！

冷やさない・駆虫徹底・腸炎予防

SHEPHERD

どうしてお腹を 冷やさないことが大切なのか 免疫との関係

- 免疫はすべて腸で活性化される(GALT)
- お腹が1°C冷えると免疫が8%低下する
- お腹が冷えると下痢するし..
- 下痢すると栄養も取れない
(アミノ酸は免疫の材料)

SHEPHERD

冬場に注意しよう...

セリから到着した時の ウェルカムドリンク

SHEPHERD

遠方から水も飲めずに到着

到着時の牛さんの行動は？

- トラックから降ろすと水場に一直線
- 冷たい水をグビグビ飲む
- 胃袋が冷えて異常発酵
- 胃袋の壁越しに腸を冷やすためGALTが冷えて免疫低下
- そこで、牛さん1頭に20L位のぬるま湯(塩をひとつかみ入れて)を用意してフスマをひとつかみ浮かべて飲ませてあげる
- ガブ飲みが防げる上におなかが冷えず、塩分も補給できる

SHEPHERD

導入時の予防注射を考える

効果的に使う！

- 導入時に抗生物質やワクチンを打つ人も多いよね
- 抗生物質は移動前に打つ方が効果的です
- ワクチンの効果が上がらない場合、群編成ストレスによる免疫低下を考える
- 1群の頭数を減らすのが最も効果的
- それでもダメなら...

SHEPHERD

軍隊飯方式のお話し

SHEPHERD

導入時の予防注射を考える

ワクチンが効かないとき！

- 本来はセリに出す前にワクチンを打っておいてもらうのがベスト
- 「麻黄湯」という漢方薬を与えるとRSウイルスの感染を防御できる
- 毎年11月くらいから導入時の肺炎が増える農場では中期の牛にワクチンを打っておくと悪化した導入牛へワクチン接種牛から輸血すると免疫を移せる(また農水に怒られるなw)

SHEPHERD

導入時にビタミンやミネラルを整える

- 繁殖・育成農場ごとにビタミンやミネラルなどの摂取量が違う
- 導入時に一定の量を与えておくと導入後の欠乏による免疫低下や食欲不振を防ぐことが出来る
- 僕は、ビタミンD₃ 500万単位+ビタミンA 250万単位を皮下注射による投与を勧めています
- 同時に亜鉛製剤(ドンハケ岳)50g×10日間飼料添加は必須

SHEPHERD

粗飼料の食いつきを確保する

- 導入期は粗飼料の食いつきが一番大切
- 摂食量が少ないときはとりあえず体温測定
- 隠れ肺炎による導入時の粗飼料摂取不足は肥育にとって大きなダメージ
- 隠れ肺炎の摘発は重要
- 硝酸態窒素やカビ毒などの毒素が少ない粗飼料を用いる

SHEPHERD

隠れ肺炎の摘発

- しっかりと牛さんに関心を持って観察すると見つかるはず
- 見つけにくい場合は、群れを2分ほど追い回し呼吸の速くなる個体や咳をする個体を見つける
- 肺炎の後遺症は、鞍下の痩せや骨軟症
- 骨軟症や鞍下の痩せは次回！

SHEPHERD